

電子書籍サービスの利用実績

公共図書館としてより公共性と汎用性の高いサービスを提供するとともに、「読書バリアフリー法」及び「障害者差別解消法」の趣旨を体現する具体的なツールとして提供することが可能となることから、本市の図書館活動の推進を図ることができるため、デジタル技術を活用した電子書籍サービスを導入することとした。

電子書籍貸出システムの調達及び運用にあたっては、本事業の特性を理解したうえで、実施可能な電子書籍サービスを積極的に提案し、事業遂行において適切な能力を発揮できる最適な受注者を選定するため、公募による企画提案（プロポーザル）を実施した。

【電子書籍サービス開始日】

令和4年11月1日（火）

【電子書籍コンテンツ数】（令和5年2月末現在）

分類	コンテンツ数		
		フィックス	リフロー（内読上げ機能）
0 総記	13	9	4（4）
1 哲学	15	7	8（7）
2 歴史	17	12	5（4）
3 社会科学	35	28	7（6）
4 自然科学	55	43	12（10）
5 技術	18	16	2（2）
6 産業	43	35	8（7）
7 芸術	55	45	10（8）
8 言語	16	15	1（0）
9 文学	78	10	68（58）
E 絵本	22	22	0（0）
K キッズ	96	93	3（2）
合計	463	335	128（108）

※「フィックス」とは「紙の本」と同じレイアウト（配置やデザイン）で表示され、文字の大きさや横書き・縦書きは変えられない書籍のこと。「リフロー」とは文字の大きさや本によっては縦書き・横書きが変えられる書籍のこと。

【利用実績等】

サービス開始時における利用者登録者数は18,034人。サービスの開始にあたっては、11月1日～3日にかけて、館内に電子書籍サービスの紹介コーナーを設置し、利用方法の説明や利用促進を行った。

令和5年2月末現在における電子書籍サービスへのログイン人数は335人、ログイン回数は1,318回、貸出回数は869回、閲覧回数は1,668回である。